



茨城大学の新しい教育を目指して

茨城大学長 三村 信男



今年9月から学長に就任した三村です。私の特徴は身長が187cmあることです。キャンパスで、背が高く写真のような人間を見かけたら、遠慮なく話しかけてください。

昨年から今年にかけて、茨城大学の新しい方向を示す出来事が続いています。第1のビッグ・イベントは、今年4月の図書館のリニューアル・オープンでした。多くの皆さんが体験しているように、新しい図書館はラーニング・コモンズや自習室など、学生が思い思いに勉強できる施設を備えていますし、カフェもあります。このように1年生や2、3年生が自由に勉強できるスペースができたことは大きな一歩ですし、日立と阿見キャンパスにも是非広げたいと思っています。

第2は、昨年から、東南アジアの大学と日本の11大学が、1学期以上学部学生を相互に派遣し合って、単位を与えるプログラムが始まったことです(大学の世界展開力強化事業と言います)。茨城大学は、インドネシアのボゴール農科大学とガジャマダ大学、タイのカセサート大学との間で学生の相互交流を始めています。これによって留学の機会が一層広がりました。

さらに、今年7月には「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」に採択されました。茨城の地域には、人口減少対策や町づくり、産業振興など沢山の課題があり

ます。こうした課題に取り組むProject-Based Learning(PBL教育)をカリキュラムに組み込んで、答えがすぐには見つからないような問題に取り組む教育を進める予定です。

グローバル化が進み変化の激しい現在の社会で活躍するには、①教養に裏付けられた俯瞰的な視野、②深い専門性、③他者と協力して課題解決に挑む人間力を身につけることが必要です。そのために、海外留学や地域の中でのPBLプログラム、ラーニング・コモンズのような環境整備を進めるべきだと考えています。私は、皆さんの意欲に最大限応えるように大学を運営していこうと考えています。要望があれば遠慮なく言って下さい。これからの皆さんの成長に大いに期待しています。

ローザ・プルムラ 第49号

大学教育センター ニュースレター
平成26年度10月発行



このニュースレターのタイトルはラテン語で「Rosa Plumula」。「薔薇の若芽」を意味します。茨城大学の校章はノイバラ(Rosa Multiflora)。春から初夏にかけてすくすく成長するノイバラの若枝の勢いを、本学に入学された1年次諸君に期待して命名しました。(2002年4月、谷口晋・初代大学教育研究開発センター長)

もくじ

| | |
|----------------------|-----|
| 巻頭言「茨城大学の新しい教育を目指して」 | 1 |
| 平成25年度推奨授業表彰 | 2~3 |
| 図書館へ行こう! | 4~5 |
| 教養科目の満足度 ~学生懇談会より~ | 6 |
| 新任教員紹介・総合英語学習相談・多読室 | 7 |
| 後学期を迎えるにあたって | 8 |

平成25年度 推奨授業表彰

推奨授業表彰制度は、各年度終了後、教養科目の中から推奨授業を選定し、担当教員を表彰することによって、授業の質的向上を図ることを目的に、平成13年度に制定されました。

推奨授業は、専任教員が担当するすべての正課授業を対象とし、「推奨授業推薦書」、「学生による授業評価」、「当該授業の成績評価」、「シラバス」などから教育上の多大な努力や優秀な教育技術等を総合的に評価し、各専門部会長の推薦により大学教育センター基礎教育運営委員会で選定されます。平成25年度推奨授業には次の3つの授業が選定されました。



平成25年度推奨授業表彰式(平成26年9月16日、於:学長室)
左から、臼坂高司先生、小口祐一・大学教育センター副センター長、岡 裕和先生、三村信男学長、野村幸代先生、佐藤和夫・大学教育センター長

平成25年度 推奨授業の紹介

総合英語教育専門部会より **総合英語「プレレベル3」**

野村 幸代 先生(大学教育センター)

授業概要

テキストを中心に、タスクや自立的学習など、クラス内外でさまざまな活動を行うことによって、日常生活に関連する話題や活動について聴く力、読む力、話す力、書く力をつけていきます。

推奨授業を受賞して

総合英語は、英語を読む・書く・聞く・話すという4技能を育成することを目的とした授業です。座って講義を聴くというタイプの授業ではなく、学生一人一人が積極的に参加し、課題をこなしたり発表をしたりします。私は、学生が楽しく英語の基礎力を確立することを目標として授業を行ってまいりました。また、初年次教育でもあるため、大学での人間関係作りの良い機会となるようにグループ活動を多く取り入れました。今回、このような賞をいただいたのは、学生の意欲的な参加と、総合英語ご担当の先生方の適切なアドバイスのおかげだと思っております。これからも、授業がより良いものとなるよう一層努力してまいります。どうもありがとうございました。(野村幸代)



情報基礎教育専門部会より 「情報処理概論」

臼坂 高司 先生(教育学部)

授業概要

Windowsの操作ならびに主要なアプリケーションソフトウェアの実践的な使用法を演習により修得する。授業を通し、コンピュータとネットワーク利用のルールとマナーを修得する。

推奨授業を受賞して

茨城大学に赴任して今年で4年目になります。初年度はどのような授業をすればよいのか非常に悩みました。そんな折、別クラスで同授業をご担当されている教育学部の野崎英明教授からご助言を頂き、大変役に立ちました。他の先生とも意見交換を行い、毎年少しずつ授業改善に取り組んできたのですが、この度は大変名誉な賞を賜りうれしく思います。ICTの活用が必須となっている現代において、大学1年次に学んでほしい内容を精選して授業を行いました。情報社会をより良く生きていくための一助になれば幸いです。なお、本授業はTA(ティーチングアシスタント)の協力を得て成り立っています。ご助言頂いた先生方並びにTAの皆さんに心より感謝致します。(臼坂高司)



自然系基礎教育専門部会より 数学「微分積分Ⅰ」

岡 裕和 先生(工学部)

授業概要

微分と積分の本質の意味を学び、1変数関数に対する微分積分の基本的な計算を習得する。また、微分方程式、関数のグラフ、関数の多項式近似(級数展開)、求積(面積・体積)などへの微分積分の応用について学習し、微分積分の有効性について学ぶ。

推奨授業を受賞して

本科目は工学部統一で行われる授業で、入学時に実施されるプレースメントテストの成績でクラス編成されます。教科書、シラバスおよび定期試験も統一なので、教える内容は必然と限定的になりがちですが、私はとりわけ微分積分の理念や意味を伝えることを主眼としています。長年の経験から学生がどこで躓くのかはおおむね承知しているつもりですが、授業中に机間巡視して学生が演習問題を解いている様子を観察していると思わぬ発見をすることがあります。この事実は推奨授業受賞者である同僚の先生がFD研究会のご講演で紹介されていた話で大変参考になりました。本講義に熱心かつ真摯に聴講してくれた学生諸君に感謝します。(岡 裕和)



図書館へ 行こう!!



図書館利用の ススメ



茨城大学図書館長 高橋 修

皆さんにとって、図書館とはどんな場所ですか。今から30年前、私が大学生だった頃、図書館は、もっぱら書籍で調べものをする場所でした。すでに皆さんはお気づきかもしれませんが、4月に増改築を終えリニューアルオープンした新図書館は、従来通り、図書情報を提供するの当然ですが、他にも多様な機能を備えています。共通教育棟側に面しているガラス張りの空間はラーニングcommonsです。人数に合わせてテーブルや椅子を動かして、授業の課題について議論したり、研究発表の場として利用したり、自由に使ってください。2階のサイレントルームは、パソコン・スマホ等音の出る機器はすべて禁止で静寂の中で勉強に集中できる、人気スペースです。同じく2階のグループ学習室は、共同学習・共同研究に最適です。空き部屋があれば、学生証で鍵が借りられます。その他、軽食OKのコーナーがあったり、貴重図書等を公開する展示室があったり、ライブラリーカフェはもうご存知ですよね。不明な点は、2階カウンターで何でも気軽に尋ねてください。後学期からは、地域の皆さんとともに学ぶ場として「土曜アカデミー」もスタートします。ぜひ新図書館を活用し、楽しんでください。



共同学習エリア (ラーニング・commons)

グループ学習エリア

人数に合わせて机を自由に組み合わせ、グループでの学習やプレゼンテーションの場として利用してください。



プレゼンテーションエリア

プロジェクタとスクリーンがあり、イベントや研究発表の場として利用できます。



プロジェクトエリア

広い机で、大きな資料を広げてディスカッションしたり、研究発表のための資料作成の場として利用できます。



サポートデスク

資料の入手方法などお気軽にご相談ください。



Food

Drink

サザコーヒー直営
ライブラリーカフェ

営業時間
9:30~18:00(平日)
10:00~17:00(土日・祝)
お持ち帰りできます

Desert

3F

2F

1F



土曜ライブ —学生たちの演奏会・公演— 10・11月の予定

- ① [日時] 2014年10月11日(土曜日) 14時~16時
[演奏] 茨城大学管弦楽団
[内容] 茨城大学管弦楽団は、主に年2回の演奏会に向けて音楽活動に取り組んでいます。今回は弦楽器、木管楽器、金管楽器にわかれてアンサンブルを発表します。
- ② [日時] 2014年10月25日(土曜日) 14時~16時
[演奏] 茨城大学中南米音楽研究会
[内容] 中南米音楽研究会は「コンドルは飛んでいく」で有名な中南米の音楽フォークローレを演奏するサークルです。今回はケーナやチャランゴといった中南米特有の楽器を使い日本人にも聞きやすい曲を演奏します。
- ③ [日時] 2014年11月1日(土曜日) 14時~16時
[出演] 茨城大学落語研究会
[内容] 茨城大学落語研究会は、古典落語や新作落語を練習し、学内外で発表しています。おなじみの滑稽噺や人情噺、怪談噺など様々な演目に取り組んでいます。八つあんな熊さんで陽居さんをはじめとした様々な登場人物を生き生きと演じます。
- ④ [日時] 2014年11月29日(土曜日) 14時~16時
[演奏] 茨城大学JAZZ研究会
[内容] 茨城大学JAZZ研究会は主に週2回の練習を行い、セッション等を楽しみながら活動しています。今回はドラムのない形態で、しっとりとした曲を中心に演奏していきます。



【場所】 茨城大学図書館3階ライブラリーホール
その他イベント、講座についてはHPでご確認ください。 <http://www.lib.ibaraki.ac.jp>

グループ学習室



学生から 馮 堯(ヒョウキョウ)さん
(人文科学研究科2年)

新しいし、きれいで魅力的です。すごく使いやすいと思います。これからもグループやゼミで積極的に利用したいと思います。

教員から 伊藤哲司先生(人文学部)

学内にはこういったスペースが少なかったのですが、ミーティングしたいときに学生だけでも利用できるのが非常に良いと思います。ガラス張りでも外からも様子が見えるというのは、良い意味で学生に刺激にもなっていると思います。



教養科目の満足度

～学生懇談会より～

大学教育センター 教育点検支援部



■学生懇談会を開催しました

大学教育センターでは、よりよい学習環境づくりのための意見交換の場として「学生懇談会」を開催しています。平成26年度前期は「初年次教育(教養教育)をより良くするためには」というテーマで、7月9日(水)に開催しました。懇談会の前には、懇談会で議論するテーマに合わせた学生アンケートを実施し、400人以上に協力いただきました。



■教養科目の満足度

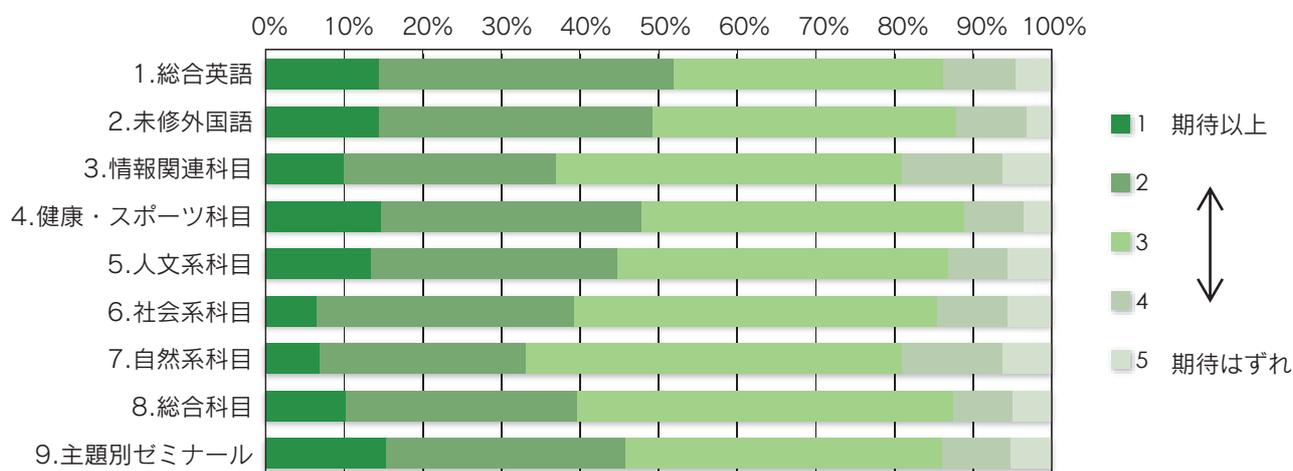
学生アンケートの設問のひとつとして、教養科目の満足度をたずねました。その結果が下のグラフです。総合英語は50%以上の学生が期待以上(1、2)となりました。次いで、未修外国語、健康・スポーツ科目、主題別ゼミナールの順に期待以上(1、2)が多く、全体としてみれば、どの科目でも8割以上の学生が平均以上(1、2、3)と答えていることがわかります。

懇談会では、教養科目の教育内容について「クラスによって成績評価にばらつきが出ないよう、評価基準を統一してほしい」「不公平にならないように、統一で実施している授業の進度はそろえてほしい」「自然系の科目で文系学生は相手にされていないように感じた」などの意見が出ました。統一内容で実施される授業や文系理系を問わずに学ぶ授業も多い教養教育では、成績評価の公平性や授業参加への平等性が重要といえます。これらの意見を参考に、授業を改善していきたいと思えます。

■よりよい大学を作りませんか！？

大学教育センターでは年2回、学生懇談会を開催しています。参加希望や興味のある学生は教養教育担当(共通教育棟1号館1階)にお問い合わせください。みなさんの積極的な参加をお待ちしています！

科目区別「教養科目の満足度」



Enjoy English!



新任教員紹介



藤井 拓哉(大学教育センター)

みなさん、こんにちは。10月から総合英語の授業を担当させて頂く藤井拓哉です。

私の目標は「英語が嫌いな学生には、英語を好きになってもらうこと。また、英語が好きという学生には、留学など英語を日常で使う環境に飛び出す勇気をもってもらおうこと」です。一緒に頑張っていきましょう！

総合英語学習相談

英語の授業でわからなかったことや、英語の学習方法で困っていることはありませんか？総合英語の担当の教員は、喜んで皆さんの学習に関するお悩みにお応えします。遠慮せず、下記の研究室にお越しください。授業担当の先生ではなくても大丈夫です。

- | | |
|----------------|----------------|
| 福田浩子(人文B606) | 上田敦子(共通教育棟211) |
| 深澤 真(人文B607-2) | 野村幸代(共通教育棟213) |
| 藤井拓哉(共通教育棟210) | 大森 真(共通教育棟232) |



多読室 ~来て、読んで、聴いて~



簡単な英語の本を大量に読んでいくと、日本語に訳さなくとも英語のまま理解する習慣ができます。また、知らない単語があっても、そこでひっかからずにとばし読みをすることができ、結果としてまとまった英語を読む底力がつきます。これが「英語多読」です。また、朗読CD付属の本も多いので、聞きながら読む、CDだけ聴いてシャドーイングする、など、「多聴」するのもおすすめです。図書館に多くの「英語多読・多聴」に適した蔵書があり、多読室の利用も可能です。多読室(共通教育棟1号館西棟第5講義室)には、英語多読用の図書と多聴用のCD付図書とCDプレイヤーが揃っています。本を読んだり、CDを聴きながら読んだりして、楽しんでください。(室外への貸出不可)

英語多読室 (第5講義室) 開室時間のご案内

授業期間中(夏休/冬休/春休休業期間中は閉室します)

- ・月：14:40～17:00
- ・火：12:00～16:00
- ・水：12:00～17:00

開室時間が終了するまで施錠しないください。



工学部 機械工学科2年 黒田 晶子

夏休みもあっという間に過ぎ、後学期が始まります。後学期はどの学部も前学期より専門科目が増えます。後学期において大切なことは、単位を落とさないことです。前学期より専門科目が増える後学期は必修が多く、落とすと2年次以降大変になります。工学部生は水戸で開講される授業を落としてしまうと日立から水戸に通わなければならなくなるので落とさないようにしましょう。

工学部は2年生になると水戸キャンパスから日立キャンパスに移ります。日立キャンパスは静かな雰囲気綺麗な場所であり、過ごしやすい環境です。2年生からは専門科目で必修が多く、さらに大変になりますが、実験や実習などの専門的な授業があるので楽しくなると思います。

最後に、後学期はすぐに終わってしまいます。また、工学部、農学部生は水戸での暮らしも残りわずかです。やり残すことのないよう、毎日充実した生活を過ごしてください。

農学部 資源生物科学科3年 木村 梨紗

後学期が始まると、農学部・工学部の学生は水戸キャンパスでの生活はあと半分になります。2年生になれば、キャンパスが変わり、他学部の友達となかなか会えなくなってしまうので、他学部の友達との思い出を今のうちにたくさん作っておきましょう。

勉強面に関しては、1年生のうちに教養科目の単位をしっかりとっておきましょう。学年があがっていくと、内容もより専門的で難しくなっていくと思います。長期休暇に集中講義で単位をとることもできますが、その分自由な時間は減ってしまいます。なので、勉強をおろそかにせず、単位は落とさないようにしましょう。

勉強をおろそかにしないことも大事ですが、農学部の皆さんは、学年が上がるにつれて授業や実験が忙しくなり、自由な時間がなくなります。なので、自分がやりたいことを思い切りできるのも今のうちだと思います。サークルやボランティア、資格の勉強、何かしらに挑戦しておくことをお勧めします。1年生のうちに自分のやりたいことにたくさん挑戦しておきましょう。勉強と遊びのメリハリをつけて、大学生活を楽しんでください。

日立キャンパス



阿見キャンパス

編集
後記

秋といえば「読書の秋」ですね！学生のみなさんには、ぜひたくさん本に触れてほしいと思います。たくさん読んでいくと、一生の宝物といえる本にも出会えることでしょう。新しい図書館も大いに活用しましょう！（ま）

● 秋・冬は、前学期に比べて、落ち着いた興味のある事柄に取り組める時期です。ここでの過ごし方が、数カ月後、数年後に差が出てくるように思います。規則正しい生活を心がけて、充実した後学期になりますように！（の）

● 前学期は、自分にとって茨大で初めての学期で、すごく多忙で、怒涛のように過ぎていきました。後学期は、腰を落ち着けてやりたいです。今回も初めての仕事が多いので、新たな気持ちで臨みたいと思います。（お）